



でらボラ NAGOYA 通信

2017年 8月号

2017 でらボラNAGOYA 総会(7月11日)で
第3期 でらボラNAGOYA 執行部改選。新しい委員は、

委員長 藤井千龍
 副委員長 久田晃俊
 八木千春
 会計 大河内真慈
 会計監査 加藤久晴
 事務局 竜沢悟



ペコリニ

左の6人が承認されました。
これから3年の任期です。
どうぞよろしく
お願いいたします。

新しい仲間も
募集しています♡

でらボラNAGOYA
会員募集中!

入会資格、
会費
不要です

申込、問い合わせは、

- 毎月12日「一如さん」募金スタッフに
お声をかけてください
- 封は、mail: derabora758@gmail.com



私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋



でらぼうNAGOYA 公開講演会 2017.7.11(TUE)

講題・小さな命の意味を考える

～あの日の大川小学校の校庭から学ぶこと～

講師・佐藤敏郎さん(「小さな命の意味を考える会」代表)

報告



2011年3月、宮城県女川第一中学校勤務のとき、震災で当時大川小学校6年の次女を亡くしました。

東北は確かに被災地だけど、名古屋は「未災地」。いつ地震が来たっておかしくない。

震災2ヶ月後「俳句をつくらうプロジェクト」で勤務する中学校の生徒たちと悲しみや現実・自分自身と向き合う授業を担当しました。



似てはいけど...

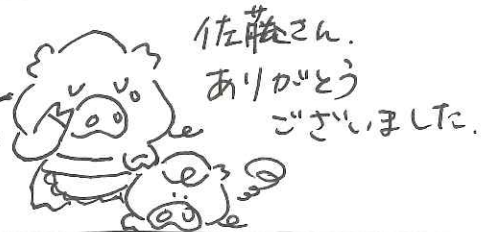
まだ大丈夫、という油断が大川小学校の悲劇につながった。校庭にいた78人のうち4人しか生存しなかった。(生徒も先生も)

あの日、を語ることの大切さに気づき、今、会をたちあげ、防災の講演をしよう。

生かされた意味・役割を考えて行動していく。「いつもの自分を失ってホントの自分を知った」

長女の中3の時の作文

「いま」「ここに」「この人がいる」ことのありがたさ。大切なことを日々、忘れてはいけない。その日の朝、たまたま次男に怒った私は、講演会后、次男をギュッと抱いて、すくりに帰りました。



8月 晴天講座にて募金活動をしました!

8月1日 82,382円、8月5日 64,862円、) 合計 200,808円でした。
別院さん設置の募金箱 53,564円、
今年は、九州北部豪雨災害への支援金とさせていただきます。
ご協力、ありがとうございます。



8月19日(土)、20(日) 17:00~

でらぼう夏まつり出店します

今年も飲食ブースに出店します。人気の馬すじ煮込みとイカ焼き&生ビール、東北と熊本の日本酒を出す予定です。

が今年是不漁らしく、ハラハラです。漁師さん、お願いしまーす。

